

宮崎善仁会病院 リウマチセンターニュース

第14号(2023年5月号 [2023/5/9 発行])

リウマチ科に通院中の患者さんは、楽しいゴールデンウィークをお過ごしになられたでしょうか？気候が変動する時期ですので体調管理にはご注意ください。本号では、前回の帯状疱疹のお話に引き続き、帯状疱疹ワクチンのお話しをしたいと思います。

帯状疱疹ワクチンの種類

帯状疱疹ワクチンは、帯状疱疹の発症を抑制し、重症化や後遺症の予防につながる可能性があります。帯状疱疹ワクチンには、(1)乾燥弱毒性水痘ワクチン（生ワクチン）と、(2)乾燥組替え帯状疱疹ワクチン（不活化ワクチン）の2種類があります。両者とも、50歳以上の方を対象とした「任意接種」となっています。生ワクチンは接種が1回で良いこと、安価である事の利点がありますが、課題として、ワクチン効果持続が5年間程度で、特に高齢者に対する効果が低いこと、生ワクチンのため、妊娠されている方、免疫機能異常のある方、関節リウマチを始めとして膠原病のように免疫力抑制をきたす治療を受けている方には投与出来ないことがあげられます。一方、不活化ワクチン（シングリックス®）は、2回接種（初回接種から2ヶ月～6ヶ月の間で2回目の接種が必要になります）が必要であること、高価であることはデメリットですが、抑制効果が高いこと、免疫抑制治療中の方でも投与出来るというメリットがあります。今回は、シングリックス®を中心に話しします。

シングリックス®の特徴と効果

シングリックス®はウイルスそのものを弱

毒化した生ワクチンではなく、帯状疱疹ウイルスの表面に存在する糖タンパク質E (gE) を抗原（標的）とした世界初の組換えサブユニットワクチンです。gE 抗原をアジュバント（ワクチンの効果を高める物質）とともに接種すると、gE 抗原に特異的なCD4 陽性T細胞（免疫に関係する細胞）と抗体が誘導され、帯状疱疹予防効果を発揮します。シングリックス®の帯状疱疹発症予防効果は、50歳代：96.6%、70歳代以上：97.9%、80歳代：89.1%でした（生ワクチン：50歳代：69.8%、70歳代以上：37.6%、80歳代：18%）。帯状疱疹後神経痛（PHN）に移行するリスク軽減効果は、50歳以上：100%軽減、70歳以上：85.5%軽減でした（生ワクチン：66%軽減）。約10年間持続することが確認されていますが、更に効果が持続する可能性もあります。

シングリックス®の副反応

シングリックス®接種後7日間に起こった主な副反応としては、注射部位の痛み78%、赤み38%、腫れ26%、全身性の副反応では筋肉痛40%、疲労39%、頭痛33%、悪寒24%、発熱18%、胃腸症状13%と報告されています。これは体の中で強い免疫をつくらうとするために起こる反応といわれており、2日～3日で多くの副反応は弱くなっていきます。ちなみに、生ワクチンでは、ワクチン接種による疼痛や腫れなどの一般的な副反応以外に、水痘ワクチンに特異的な副反応として、接種後1～3週間後に発熱や、2～3%に全身性の水痘様発疹がみられることがあります。いずれにしても副反応がでた方は、早めに接種を受けた医療機関にご

相談ください。

接種後の日常生活での注意点

接種後の注意点としては、接種部位は清潔に保つ、接種当日は激しい運動は控える、接種部位をこすったりもんだりしないなどがありますが、お風呂は入っていただいてかまいません。接種後 1 週間は副反応の出現に注意し、気になる症状が現れた場合は速やかに接種を受けた医療機関にご相談下さい。

接種費用について

带状疱疹ワクチンは任意接種であるため、原則全額自己負担となりますが、全国的には助成の受けることのできる自治体も少しずつ増えてきています。接種費用は医療機関ごとに定められていますので、各医療機関にお問い合わせください。なお、当院でもシングリックス®接種を行っておりますので、ご不明な点や接種ご希望が有る場合は担当医にご相談下さい。

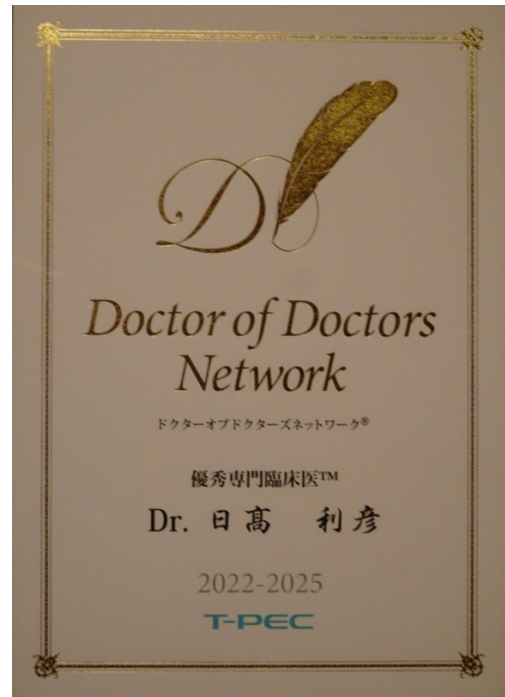
(日高利彦)

日高利彦医師が Doctor of Doctors Network 優秀専門臨床医™ 2022-2025」に認定されました

当院リウマチセンター所長 日高利彦医師が Doctor of Doctors Network 優秀専門臨床医™ 2022-2025」に認定されました。

優秀専門臨床医™とは、T-PEC 株式会社が提供するサービス「ドクターオブドクターズネットワーク®」の特別顧問および評議

員が、本人もしくは家族が入院や手術が必要になった場合をお願いしたいと思える医師であること等の推薦基準を満たした医師を推薦。選考基準に基づき、各評議員会において全会一致で選考された医師のみが優秀専門臨床医™として認定されています。



リウマチセンターニュースのバックナンバーの必要な方は当院の職員に気軽にお尋ね下さい。

なお、当院のホームページでもバックナンバーを確認出来ます。

(https://www.m-zenjin.or.jp/publicity_cat/publicity_1)